

## 2024年度企業調査報告書

過去採用実績のある企業・法人をピックアップしインタビュー及びアンケート調査を行った。

【目的】企業・法人の人事担当者から見た本学のキャリア教育の課題の抽出と、企業・法人が新卒採用に対し何に重きを置いているのかを判断し、今後の適切な学生指導へ活かすために行う。

【方法】企業・法人の人事担当者向けにインタビュー及びアンケート調査

【期間】2024年8月10日～8月31日

【対象】本学卒業生が在籍している企業、法人

### 【対象企業・法人】

| A  | B  | C  | D  |
|--|--|--|--|
| 種別：一般企業<br>業種：流通・その他(コンビニ・薬局・書籍・スポーツ等)<br>事業内容：楽器販売、音楽教室運営<br>資本金：1億円<br>従業員数：2,315名 | 種別：公務員<br>業種：公務(国家)<br>事業内容：陸上自衛隊<br>資本金：公表無<br>従業員数：24,000名 | 種別：一般企業<br>業種：販売<br>事業内容：レディースファッション企画・製造・小売・卸<br>資本金：1,000万円<br>従業員数：250名 | 種別：一般企業<br>業種：金融<br>事業内容：金融、共済、販売、農業指導<br>資本金：1億24百万円<br>従業員数：997名 |

### 1. インターンシップについて

|          | A                           | B            | C                     | D                          |
|----------|-----------------------------|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 実施の有無    | 実施有(2023年度は関東・近畿地区のみ実施)     | 有            | 有                     | 有                          |
| 選考方法     | インターン面接(実技演奏動画提出有)          | 採用試験         | 先着またはES提出             | グループディスカッション(オンライン)、SPI、面接 |
| 採用選考との関連 | 2024年度については関連なし。今後については検討中。 | 学科試験・面接・身体検査 | 5 DAYS インターンシップのみ選考直結 | 早期選考受験可能                   |

●2023年4月よりインターンシップでの情報を採用選考に利用することを認められた。が、5日間以上のものに限られるため、C社、D社のような比較的規模の大きな企業はインターンシップ⇒早期選考という流れが出来上がっている。他はインターンシップが行われているが実際は1日～3日程度で終了するもので採用選考と関連付けるものではない、または今後検討とのことだった。

## 2. 本選考について

|                     | A  | B                 | C             | D                   |
|---------------------|--|-------------------|---------------|---------------------|
| 2025年度の採用計画及び採用予定職種 | 講師、インストラクター<br>(※スタッフ職別途実施)  | 陸・海・空各種           | 総合職、企画職       | 総合職(事務・営業)          |
| 採用選考開始時期            | 東海地区 2025年新卒採用選考会は2024年9月より開始予定  | 通年                | 3月            | 12月                 |
| 内々定連絡開始時期           | 上記採用試験実施後、合格者へ随時ご連絡(関東地区開催の選考会のみ6月～)   | 受験種目による           | 4月            | 1月末から2月上旬           |
| 採用試験全般で重視する点        | 音楽力・コミュニケーション力。生徒様から憧れられる演奏力、指導者としての基礎的な演奏力。コミュニケーション力は、生徒様に寄り添えるヒアリング力や初心者の方にわかりやすく伝えることができる言葉の表現力など、生徒様のことを知りたい・音楽の楽しさを伝えたいという気持ちが伝わってくることを重視。 | 総合的判断             | コミュニケーション能力   | 人物(人柄)              |
| 成績・資格・語学など          | 選考は当社の採用試験にて実施。コンサート・コンクール出演出場歴は参照しプラスの要素として参考。外国籍の方は日本語の読み書き会話が問題ないことを前提。   | 受験種目による           | 特に必要なし        | 特になし                |
| エントリーシートの提出方法       | 紙媒体、その他(選考会申込はWEBのみ)応募用紙(履歴書)は紙媒体で説明会参加時に持参。   | 紙媒体、電子データ(PDF等含む) | 電子データ(PDF等含む) | 電子データ(PDF等含む)       |
| 試験内容                | 筆記試験・演奏実技試験・面接   | 学科試験・面接・身体検査      | SPI           | グループディスカッション、SPI、面接 |
| グループワーク試験の有無        | 無し   | 無し                | 無し            | 無し                  |
| 面接回数                | 講師1回、インストラクター最低2回  | 1回                | 2回            | 2回                  |

●本選考に関して企業側が最も気を遣うのは「転勤」ということであった。近年では総合職といえども「地域限定職」という形で転居を伴わない採用形態を多くするなどの配慮が見られるケースがあり、地元志向が顕著に表れているとのこと。

●採用選考の開始時期としては最も早いのがD社の3年次12月。そのほかは3月以降順次や随時というところが多かった。ただ、例年同じ時期にて選考開始しているが希望者がいればその都度説明会や選考を開催するとのことであった。

●採用試験全般で重視する点については、全てで「人柄」「コミュニケーション」の力がある学生を求めていることが伺える。もちろん企業内においても人間関係の構築することが不可欠であるため、そういった能力のある人材が望まれている。

●採用試験においては講師系での採用は実技が必須、面接に関しては全ての企業・法人で実施されており、一般企業に関しては最高で2回との回答であり、選考のスピード感を重視しているようであった。

### 3. 昨今の学生の印象と本学学生に求めること

|                         | A   | B    | C                                | D                      |
|-------------------------|---|------|----------------------------------|------------------------|
| 本学学生も含めた昨今の応募学生の印象      | 他大学含め、志望動機など基本的なことはしっかり準備して臨んでいる印象。一方で「楽しいレッスンをしたい」と考える学生の方が多いが、「どのようにしたら楽しいレッスンになるか」の具体的な部分まで掘り下げてイメージできている方はまだ少ない印象。  | 好印象  | コロナ禍の影響かコミュニケーション能力に問題のある学生が多い印象 | 明るく真面目で一生懸命な印象         |
| 本学学生へ求めること、得ておいてほしいスキル等 | 実際のレッスンの中でも、演奏指導の一環として、楽典やソルフェージュに関わる指導が必要。そのため、筆記試験では聴音と楽典とを実施。また、指導者としての演奏力も重視。自身の演奏の強みを十分に活かせる演奏曲の演奏。生徒様とのコミュニケーションを通して信頼関係を築ける方を求めている。コミュニケーションスキルを磨いていきたい、と考えている方を求めている。 | 特に無し | 人を感動させる能力                        | コミュニケーション能力、前向きさ、愛想の良さ |

●全体的には「真面目」、「大人しい」というようなキーワードが挙げられている。今回挙げていた企業・法人もそうだが来校いただいた企業・法人の方も、同じような意見を言われることが多くある。コロナ禍でのコミュニケーションの断絶やスマートフォン等のツールの発達による「対面スキル」の弱さが企業としては採用後の業務に支障が出る場面（トラブル）があるのではないかと、またそれがきっかけに退職してしまう恐れがあることを危惧していた。

●本学学生に求めることは大まかにいって「コミュニケーション能力」であると考えられる。どんな業種・職種においてもお互いの信頼関係は必須であり、その信頼関係を構築するためにはコミュニケーション能力が必要である。このコミュニケーション能力を向上させるためには「人と話すこと」だけでなく、その人に合わせた「知識」「教養」を持つことが重要であり、そこを根底としたコミュニケーション能力が課題解決力や社会人基礎力の醸成に繋がっていくと考えられる。本学でいえば「音楽」という専門的な学びに付随するものとして個だけではなく団体でのリーダーシップや協調性も養われていることは大きな武器となる。本学としてそれだけでなくキャリア支援センターのセミナー等を通じて様々な教養（知識）を身に付け、それを使いこなす方策をキャリア支援センターとして伝えていきたい。